

部局名	安全環境部			所属名	清掃センター			所属長名	巢立 弘志			電 話	483-4521		
-----	-------	--	--	-----	--------	--	--	------	-------	--	--	-----	----------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード		3235		事務事業名称		埋立処分地施設管理事業							短縮コード		経常	3235		臨時	3525					
予算区分		会計	01	一般会計			款	04		衛生費			項	02		清掃費			目	02		塵芥処理費		
区 分		☒ 自治事務				☐ 法定受託事務		根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律														
		☐ その他																						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																								
昭和４８年６月に処分場に埋立処分を開始に伴い、不燃物等の埋立作業と処分場施設の維持管理を行う事業である。																								

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）			最終処分場				
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）			※平成21年度に実際に行ったこと： ・最終処分場の維持管理に必要な機械の整備 ・最終処分場の害虫駆除 ・最終処分場周辺観測井の水質分析調査 ・不燃ごみの分別，焼却残さ等の外部処理委託				
			※平成22年度に計画していること： ・最終処分場の維持管理に必要な機械の整備 ・最終処分場の害虫駆除 ・最終処分場周辺観測井の水質分析調査 ・不燃ごみの分別，焼却残さ等の外部処理(資源化)委託 ・焼却残さ等の埋立				
意図 （何を狙っているのか）			廃棄物の処理及び清掃に関する法律に則った，最終処分場の維持管理				
ねらい（上位施策の意図）			入力対象外				
区 分			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	最終処分場	箇所	1	1	1	1
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	焼却残さ, 不燃ごみ	t	6, 023	6, 923	5, 391	6, 748
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	埋立量	t	0	0	0	4, 948
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード		3235	事務事業名称	埋立処分地施設管理事業			所属名	清掃センター
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	303, 354	354, 980	294, 683	250, 040	
		その他	千円			42, 105		
	主な事業費の内訳			委託料 271, 576千円 使用料及び賃借料 1, 968千円 備品購入費 1, 819千円	委託料 338, 650千円 使用料及び賃借料 3, 562千円	委託料 282, 893千円 使用料及び賃借料 3, 142千円 工事請負費 40, 425千円	委託料 182, 577千円 使用料及び賃借料 7, 765千円 工事請負費 40, 000千円	
	人件費 (B)			千円	36, 823. 7	38, 473. 4	38, 606. 8	56, 187
トータルコスト (A) + (B)			千円		340, 177. 7	393, 453. 4	375, 394. 8	306, 227

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由									
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		上位の施策「環境に配慮した適正なごみ処理の推進」を推進するために、埋立処分地施設管理事業を実施しており、結びついている									
			☐ 結び付くが見直しの余地がある											
			☐ 結びつきが弱い・ない											
			☐ 評価対象外事項											
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		今後も引続き事業を継続していく。									
			☒ 達成していない											
			☐ 評価対象外事項											
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		法律（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）上市固有の事業の為									
			☒ 可能性はない											
			☐ 評価対象外事項											
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		所期目的の変更はなく、現状の「対象」・「意図」の設定で結果に結びつく。									
			☐ 見直す必要がある											
☐ 評価対象外事項														
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☒ 有効性向上の可能性はある											
			☐ 効率性向上の可能性はある											
			☐ 両方可能性はある											
			☐ 可能性がない											
		⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等		処分場の維持管理は、埋立が完了した後においても、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」の規定により、長期にわたり安全、適正な維持管理が必要である。埋立が完了した処分場について、土地の平面的な有効利用として、多目的広場の整備を図る。								
				☐ 臨時的任用職員等の活用										
				☐ I T 化等の業務プロセスの見直し										
				☐ 受益者負担の見直し										
				☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）					
				☒ 上記以外の方法							2		実施主体 （所管部署）	
		⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		多目的広場整備費用として一時的に経費増となること。								
☐ ない														

コード	3235	事務事業名称	埋立処分地施設管理事業				所属名	清掃センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			処分場の機能的な維持管理については、委託等への移行を既に実施済みであり、現状のままであるが、土地の有効活用として平面的な部分利用の多目的広場の整備を行う。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			処分場（第2次）の平面的な整備や処分場（第3次）の改修事業（事務事業名：最終処分場恒久対策事業）が完了し埋立処分を再開したことから、一時的に経費は増加するが、処分場の有効活用が図れる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
処分場周辺の緑化推進の要望あり。多目的広場整備において、芝生等による防塵対策の要望あり。									

所属長コメント	今後も施設の適正な維持管理に努め、継続して事業を実施していく。また、第2次最終処分場の平面的な部分の有効活用を推進する。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			第2次最終処分場用地については、多目的広場として、有効活用すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									